

内閣総理大臣 安倍晋三 様  
経済産業大臣 小淵優子 様

南相馬市…特定避難勧奨地点の解除に反対  
汚染の実情と住民の意向に即した  
避難勧奨の継続と地域指定を

私たちは南相馬の住民です。

福島第1原発事故に伴い、私たちのふるさとには汚染され、いまなお強い汚染が継続しています。

2011年、政府が一方的に決めた年20ミリシーベルトという高い基準と、そこから導き出された空間線量率に基づき、住民の意向を無視して、世帯ごとに特定避難勧奨地点が定められました。調査もいかげんで、同じ汚染レベルでも、指定されたりされなかったりでした。これにより、汚染が高く、避難したくても避難できない多くの住民が指定から漏れました。

そして、今度は、特定避難勧奨地点に指定された南相馬市内の152世帯について、政府は早ければ10月中にも指定を解除することを伝えてきました。

10月8日に開催された説明会で、発言した住民のすべては反対意見でした。

それもそのはずです。除染が済んだといわれる南相馬市の環境には、いまだに百万 Bq/kg を超える黒い物質といわれるものがあり、数十万 Bq/m<sup>2</sup> もの汚染地帯があるのです。

そんな場所に帰還を強要するのでしょうか。そんな場所に子どもや孫をすまわせろというのでしょうか。

住民の意見は、またしても無視されてしまうのでしょうか。

私たちは、特定避難勧奨地点の解除に反対し、住民の意向と汚染実態に即した避難勧奨の継続と地域指定を求めます。

2014年10月10日  
南相馬・避難勧奨地域の会